

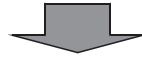
問題行動への対応と支援

子どもたちが学校の中で示す問題行動にはさまざまなものがあります。



ポイント1

子どもの気になる行動は、「子どもからのメッセージ」



★「どうしたらよいか」を考える前に「**なぜ、そのように行動するのか**」考えよう

★「問題行動をなくす」のではなく「**適切な行動をふやす**」ようにしよう

ポイント2

問題行動のチェックをしよう！

★ 気になる行動は、いつも絶えず生じている場合は少なく、ある一定の似たような状況の中で多く生じたりする傾向があります。そのパターンを見つけだすと指導の手がかりが見えてきます。

いつかな
どこでかな
誰といるときかな
何をしているときかな



★ 「問題行動を起こしている状況」を明らかにすることは、「問題行動を起こしていない状況」を明らかにすることにつながります。



問題行動の中心的な要因を見つけるために、ABC分析をしてみましょう。

〈事 例〉

ひろし君は授業が始まると落ち着きがなくなり、質問されてわからないとすぐにイライラする。授業が20分くらい経過したところで、机をたたいて教室から飛び出し、校庭の砂場で砂いじりを始めてしまいました。

- (1) 問題となる行動は？ (行動: **B**ehavior)
- (2) 何が原因か？ (先行事象: **A**ntecedents)
- (3) その結果は？ (結果: **C**onsequences)

それぞれの頭文字をとって、

ABC分析

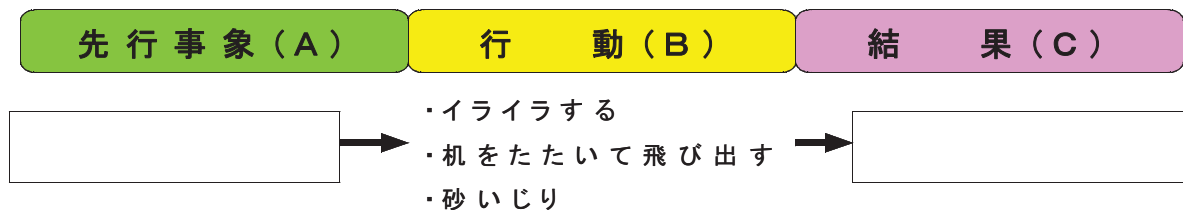
といいます。



ひろし君の問題となる行動(B)は、何でしょうか？

例) イライラする、机をたたいて教室を飛び出す、砂場で砂いじりをする

この行動が出現したときの、先行事象(A)と結果(C)を考えてみます。



先行事象(A) に関して

- ① いつ起こりやすいか ② どこで起こりやすいか ③ 誰に対して起こりやすいか
- ④ どのような状況で起こりやすいか 観察します。

ひろし君の場合は、授業中に教室で学習がはじまると、問題となる行動が起こりやすいようです。また、先生から質問され、わからないとイライラして、20分ぐらい経過すると、ガマンができずに飛び出してしまいうようです。



結 果(C) に関して

- ① 問題行動を起こした結果、どうなったか

ひろし君がイライラしたり、机をたたいて外に飛び出したりしたので、まわりの友達がさわぎはじめました。先生は、ひろし君を止めようと、大きな声で注意をしたり、ひろし君を連れ戻そうと追いかけていました。その後、だんだんとさわぎが大きくなり、ひろし君の問題行動は繰り返されるようになりました。

以上のことから、ひろし君は学習にうまく参加できていない状況があり、イライラして教室から飛び出し、その結果、おおさわぎになったということがわかりました。さらに、このようなパターンが繰り返されるうちに授業に参加できないときには、「とびだす」といった行動をとることで、その状況を回避するといった、悪循環が起きていることがわかりました。



ABC分析から問題行動の解決の糸口をさがしてみましょう。

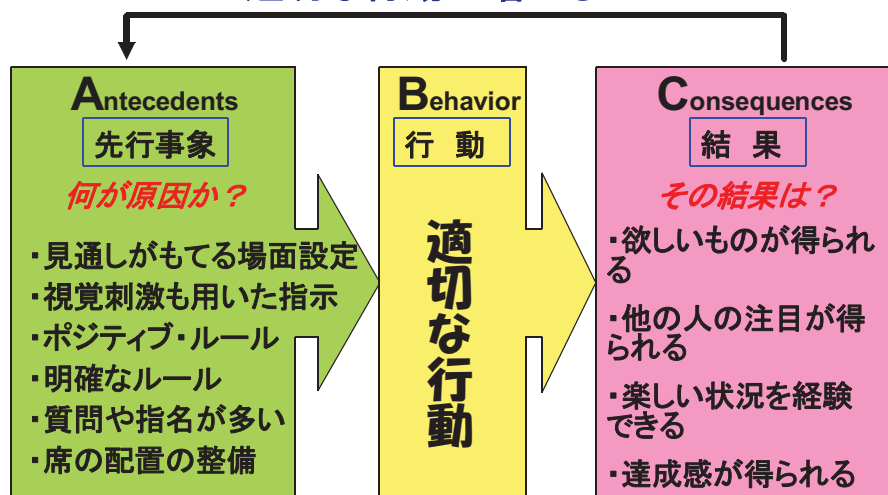
ABC分析から問題行動の要因がつかめたら、**問題行動**と置きかわる**適切な行動**を増やしていく方法を考えます。



問題行動が起こりにくい環境

適切な行動が増える

—行動のABC—



先行事象(A)

左図のような、支援の工夫を通して、子どもが安定して行動できるような**環境を整えます**。

行 動(B)

それらの状況(A)の中で、子どもにとって**短期間で学習可能な行動**が目標とされていると、適切な行動や安定した行動が出現するようになります。

結 果(C)

子どもが適切な行動を行った結果、ほめられる、注目される、楽しい状況を経験できる、達成感が得られるといった状況が生まれます。



問題行動に対応するためには、適切な行動が引き起こされやすい先行事象(A)を設定し、子どもの現在の学習の水準(教科・生活・コミュニケーション等)にふさわしい課題を設定し、適切な行動(B)が出現したら、十分ほめる、マルをつけるなどフィードバック(C)することが大切です。

そして行動すること、達成すること自体が強化になるように移行していくことが大切です。

実際に支援をしていく中で、効果があるものは継続し、効果がないものは目標や支援の方法について修正していきます。このように、問題行動の解決にも「計画－実行－評価－改善(P-D-C-A)」の観点が必要であることは言うまでもありません。

なお、ABC分析による「問題行動分析シート」と「問題行動解決シート」を資料として、取り出せるようにしてありますので、ご活用下さい。

【参考資料】

- ・改訂版 特別な配慮を要する子どものQ&A
- ・応用行動分析で特別支援教育が変わる

茨城県教育研修センター
山本淳一・池田聡子 著 図書文化社